

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2017年第7週
(2月13日～2月19日)

- * 2017年2月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「我が国の予防接種の課題」も掲載しています。

平成29(2017)年2月23日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2017年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	58	73	69	43	406	294	2,568
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) ^{*3}							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢	3	1	1		8	2	29
	腸管出血性大腸菌感染症	3			1	9	8	80
	腸チフス			1		1		2
	パラチフス							
四類	E型肝炎	1	3		1	7	5	40
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	2	6	4	22
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	ジカウイルス感染症 ^{*4}							1
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*5}							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病		1			2	2	37	
デング熱	1	1			7	2	27	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

*4 2016年2月15日より新たに追加指定された。

*5 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							3
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア					2		5
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	2	2	4	18	16	121
レプトスピラ症			1		1		1	
ロッキー山紅斑熱								
2017/2/22集計								

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 43件 患者 30件(肺結核 20件、その他の結核 5件、肺結核及びその他の結核 5件)、無症状病原体保有者 13件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、20代 5件、30代 5件、40代 4件、50代 4件、60代 7件、70代 5件、80代 10件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 42件、中国 1件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者、血清型・毒素型はO157 VT2、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

A型肝炎 2件 患者 2件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 1件、カンボジア 1件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

レジオネラ症 4件 病型は肺炎型 4件、年齢は60代 1件、80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は水系感染 2件、塵埃感染 1件、不明 1件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2017年7週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		4週	5週	6週	7週	年累計	7週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	7	4	6	32	19	146
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）		1	2	3	8	5	34
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	3	2	24	13	172
	急性脳炎*1	2	3	2	2	14	14	118
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2	1	3	2	24
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1		2	10	4	67
	後天性免疫不全症候群	12	13	11	4	65	4	151
	ジアルジア症					1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	2			9	3	56
	侵襲性髄膜炎菌感染症							4
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	8	10	10	63	55	512
	水痘(入院例に限る)	2	1		1	6	1	23
	先天性風しん症候群							
	梅毒	28	34	25	28	176	74	546
	播種性クリプトコックス症				1	4	5	22
	破傷風				1	1	1	5
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1		3	2	15
	風しん						1	8
麻しん					2	6	32	
薬剤耐性アシネトバクター感染症						1	5	

2017/2/22集計

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〔五類感染症〕

アメーバ赤痢 6件 病型は腸管 5件、腸管外 1件、年齢は30代 2件、40代 2件、50代 2件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、経口感染 1件、不明 3件であった。

ウイルス性肝炎 3件 B型 3件、年齢は20代 2件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、ドイツ 1件、推定感染経路は性的接触 3件(異性間 2件、両性間 1件)、B型肝炎ワクチン接種歴は無し 2件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件 患者 2件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 1件、エンテロバクター・クロアカ 1件、年齢は60代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は以前からの保菌 1件、医療器具関連感染(尿路カテーテル) 1件、90日以内の海外渡航歴は無し2件であった。

急性脳炎 2件 病原体はヒトヘルペスウイルス6型 1件、病原体不明 1件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、接触感染 1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は80代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 血清群はA群 1件、不明 1件、年齢は30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件であった。

後天性免疫不全症候群 4件 AIDS 1件、無症候キャリア 3件、AIDS患者の年齢は30代、無症候キャリアの年齢は30代 3件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 4件(同性間 3件、異性間 1件)であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 10件 血清型はすべて検査未実施、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、60代 3件、70代 1件、80代 3件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 9件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明4回接種済み 1件、23価1回接種済み 1件、無し 5件、不明 3件であった。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、水痘ワクチン接種歴は1回接種済みであった。

梅毒 28件 患者 19件(早期顕症梅毒Ⅰ期 7件、早期顕症梅毒Ⅱ期 12件)、無症候梅毒 9件、年齢は20代 10件、30代 6件、40代 6件、50代 5件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 28件、推定感染経路は性的接触 25件(同性間 6件、異性間 16件、性別不明 3件)、不明 3件であった。

播種性クリプトコックス症 1件 患者、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は免疫不全(誤嚥性肺炎)であった。

破傷風 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

※ 第5週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 3件の追加報告があった。

※ 第6週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2017年7週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2017年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		4週	5週	6週	7週		
小児科	RSウイルス感染症	24 0.09	36 0.14	22 0.08	28 0.11	261	264
	咽頭結膜熱	60 0.23	51 0.20	53 0.20	67 0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	487 1.87	519 1.99	473 1.82	547 2.10		
	感染性胃腸炎	1,608 6.16	1,453 5.57	1,370 5.27	1,689 6.47		
	水痘	85 0.33	66 0.25	48 0.18	74 0.28		
	手足口病	14 0.05	10 0.04	21 0.08	19 0.07		
	伝染性紅斑	27 0.10	27 0.10	20 0.08	31 0.12		
	突発性発しん	112 0.43	114 0.44	107 0.41	121 0.46		
	百日咳	2 0.01	3 0.01	1 0.00	1 0.00		
	ヘルパンギーナ	2 0.01	3 0.01		1 0.00		
	流行性耳下腺炎	68 0.26	82 0.31	68 0.26	78 0.30		
	川崎病 *1	4 0.02	3 0.01	3 0.01	3 0.01		
	不明発しん症 *1	12 0.05	7 0.03	12 0.05	8 0.03		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	16,074 38.73	14,694 35.41	10,813 26.18		
眼科	急性出血性結膜炎			1 0.03		37	39
	流行性角結膜炎	12 0.31	9 0.23	7 0.18	7 0.19		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		4 0.16	1 0.04	1 0.04	25	25
	無菌性髄膜炎				1 0.04		
	マイコプラズマ肺炎	8 0.32	9 0.36	7 0.28	7 0.28		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	4 0.16	5 0.20				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	4 0.16	4 0.16	5 0.20	7 0.28		
	インフルエンザ入院	83 3.32	104 4.16	96 3.84	83 3.32		

2017/2/22集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、流行警報は継続している。
- ・ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)の定点当たり報告数が増加傾向である。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2017年7週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	2			8							
6～11か月	9	3	4	62	2	1	1	31			
1歳	8	17	23	180	6	7	2	72			1
2歳	3	12	41	141	8	6		12			3
3歳	2	7	43	136	6		3	3			12
4歳	1	8	76	142	7		10	3	1		4
5歳	1	9	67	126	6	3	7				10
6歳		2	77	108	14		1			1	15
7歳		3	52	110	8		1				11
8歳		3	41	98	7		2				6
9歳		1	26	91	2		2				6
10～14歳			60	232	7		2				8
15～19歳			5	48							1
20～29歳	2	2	32	207	1	2					1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	28	67	547	1,689	74	19	31	121	1	1	78
先週比	6	14	74	319	26	-2	11	14		1	10

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			23								1
6～11か月		1	87							1	1
1歳	1	1	343					1			5
2歳		2	380							1	1
3歳	1		463								2
4歳		1	594		1					1	1
5歳			568					1		1	1
6歳	1	1	609					1		2	
7歳			573					1		1	1
8歳		1	530		1			1			2
9歳			434								1
10～14歳		1	1,637					2			1
15～19歳			487								
20～29歳			450								1
30～39歳			574		4		1				1
40～49歳			677								
50～59歳			401		1						1
60～69歳			228								3
70～79歳			139								13
80歳以上			80			1					47
合計	3	8	9,277		7	1	1	7		7	83
先週比		-4	-1,536	-1			1			2	-13

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2017年7週

	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田				1.67			0.33				0.33
中央区		1.00	1.33	8.67				0.67			
みなと	0.33	0.50	1.50	7.50	0.67		0.17	0.33			0.33
新宿区		0.13	2.88	5.38	0.13		0.13	0.25			0.13
文京			1.25	5.75	0.50		0.25	0.25	0.25		0.25
台東		1.00	2.75	7.00	0.50			0.50			0.50
墨田区			1.20	3.40	0.40	0.20		0.80			
江東区	0.11	0.56	1.33	11.56	0.33		0.11	0.78		0.11	0.11
品川区	0.63	0.38	1.50	4.50	0.25	0.25	0.13	0.50			0.25
目黒区			1.80	5.20	0.60	0.20	1.40	0.80			0.20
大田区		0.83	3.08	5.92		0.25	0.08	0.58			0.42
世田谷	0.13	0.56	1.56	5.56	0.38	0.19		0.19			0.44
渋谷区	0.50			3.25	1.00						
中野区	0.67	0.33	1.67	10.50	1.33			0.50			0.17
杉並	0.09	0.09	1.09	4.18	0.36		0.18	0.18			0.09
池袋		0.25	0.50	5.00							
北区			1.86	5.57	0.43			0.57			
荒川区	0.25	0.50	2.00	6.00	0.50			0.50			0.50
板橋区			1.30	3.60	0.10	0.30		0.60			0.10
練馬区	0.08	0.08	4.15	5.77	0.15	0.38		1.00			
足立	0.08	0.38	0.92	5.77	0.08			0.31			0.15
葛飾区			1.13	5.13	0.13			0.38			
江戸川	0.08	0.08	1.50	9.58	0.25		0.08	0.33			0.33
八王子市	0.09	0.27	2.73	11.64	0.36		0.27	0.64			0.64
町田市			5.00	9.75	0.25		0.38	0.38			1.63
西多摩		0.13	0.63	4.88	0.25			0.38			
南多摩	0.22		2.78	5.89	0.22		0.11	0.56			0.22
多摩立川	0.07		2.21	9.00	0.14		0.14	0.14			0.43
多摩府中		0.10	1.35	6.10	0.35		0.15	0.30			0.60
多摩小平	0.20	0.67	5.47	5.53	0.07	0.07	0.13	1.07			0.27
島しょ			3.00								
東京都	0.11	0.26	2.10	6.47	0.28	0.07	0.12	0.46	0.00	0.00	0.30

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田			12.50								2.50
中央区		0.33	19.00								
みなと			17.11								2.00
新宿区			11.42			0.50	0.50	0.50		0.50	2.50
文京			13.86								6.00
台東			14.86								
墨田区		0.20	18.25								3.00
江東区			22.36								
品川区			14.75		1.00						
目黒区			14.75								
大田区	0.08	0.08	17.63		0.50						
世田谷		0.06	24.56							0.50	7.00
渋谷区			10.29					1.00		1.00	3.00
中野区			27.30								
杉並			17.18		1.00						0.50
池袋			17.86								
北区			22.18								
荒川区			26.29								
板橋区			12.69							1.00	1.00
練馬区			17.95		0.50						
足立		0.15	22.90		0.50						
葛飾区		0.13	23.85		1.00					2.00	9.00
江戸川	0.08		19.84		0.50						
八王子市			33.00								2.00
町田市			39.00								
西多摩			26.64								1.00
南多摩			28.86								
多摩立川			26.95					1.00			3.00
多摩府中	0.05	0.05	26.19					0.67		0.33	2.67
多摩小平			30.26					1.00			10.00
島しょ			22.00								
東京都	0.01	0.03	22.35		0.19	0.04	0.04	0.28		0.28	3.32

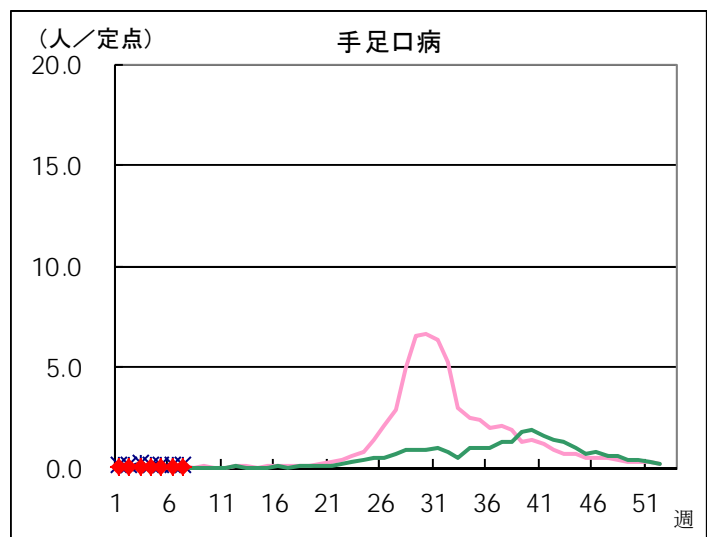
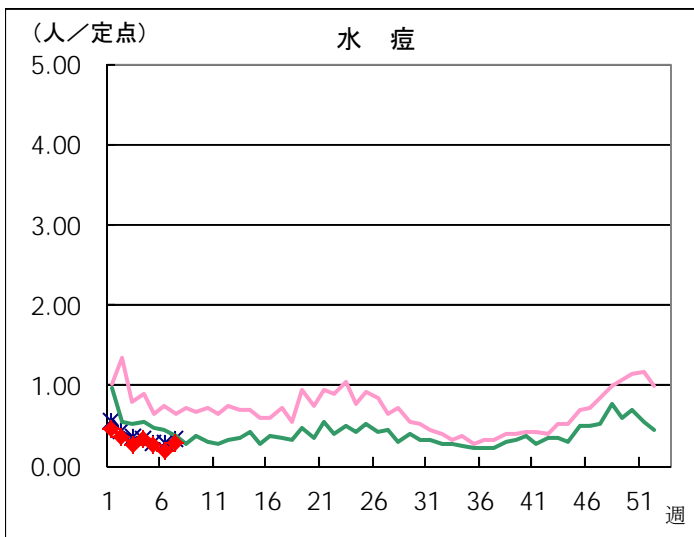
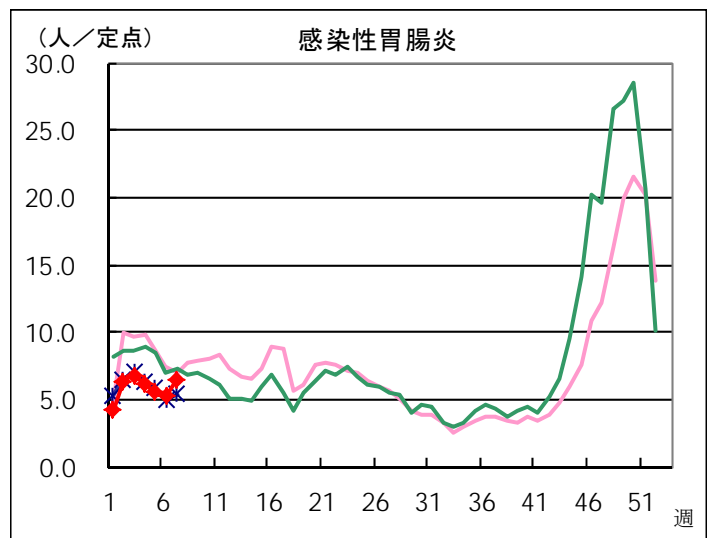
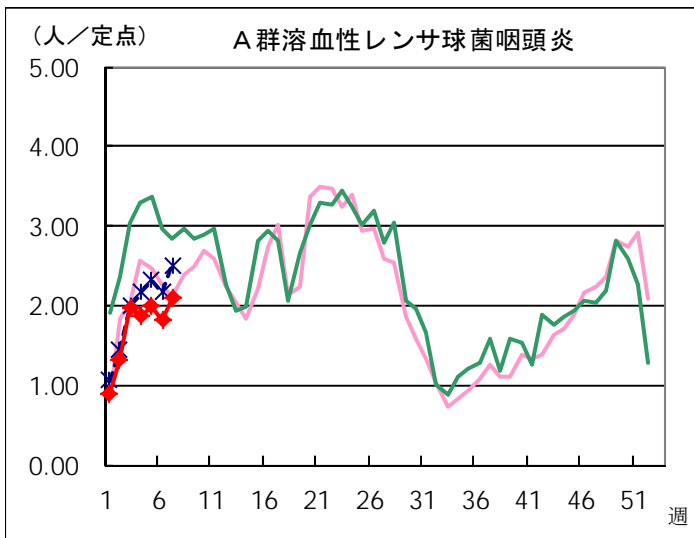
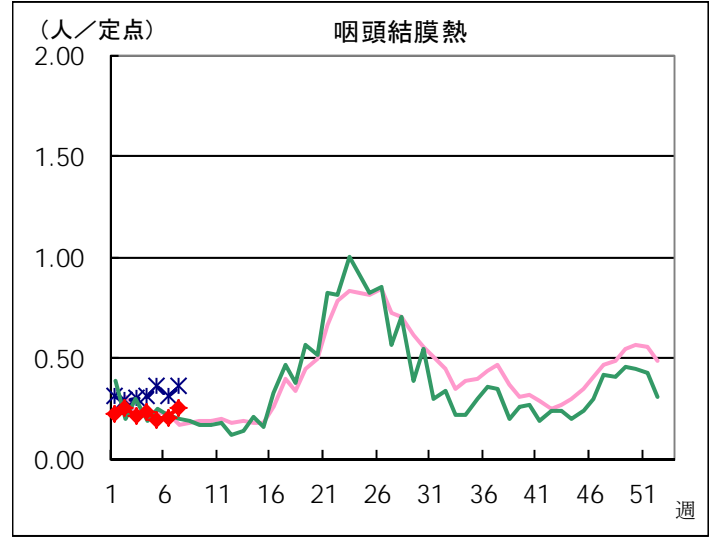
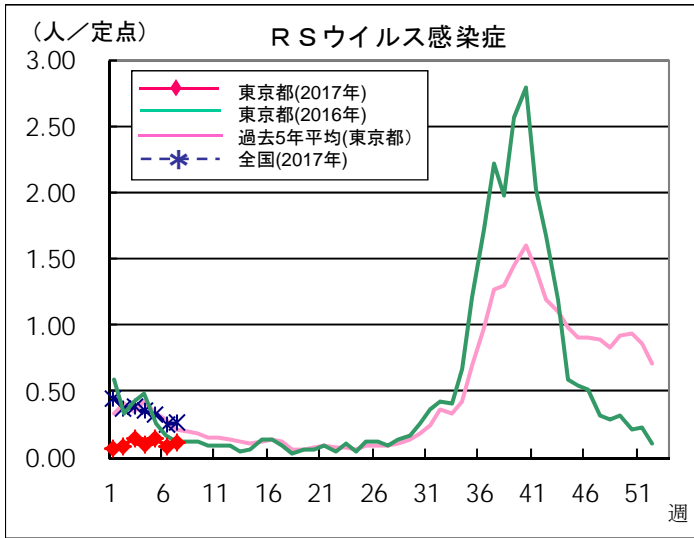
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2017年7週

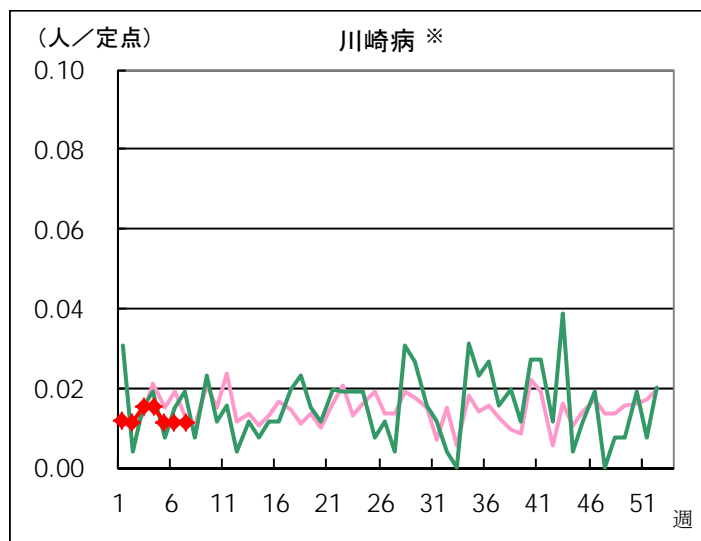
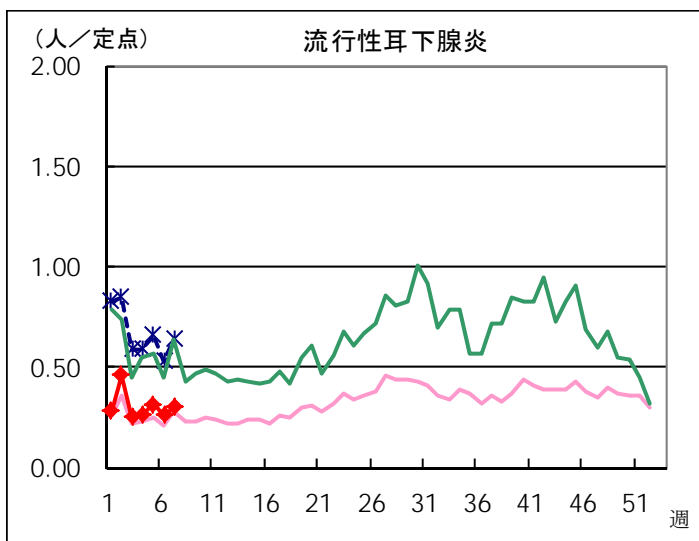
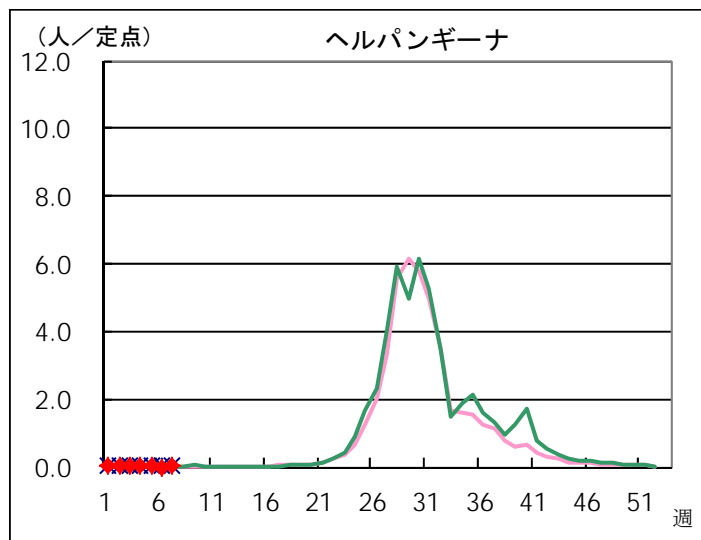
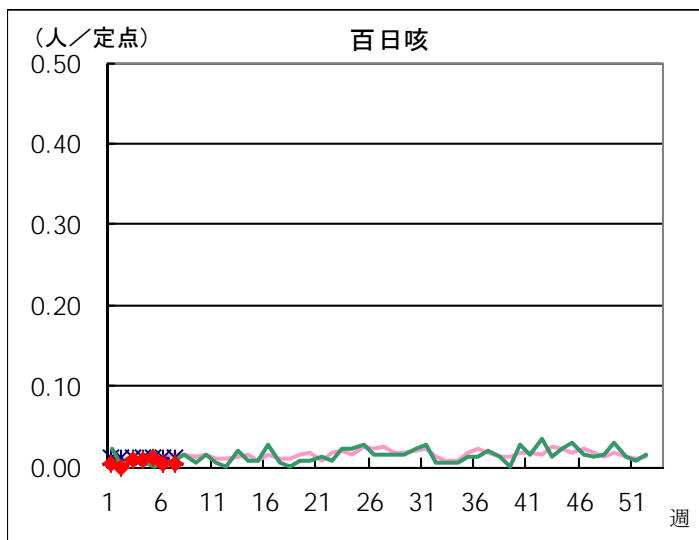
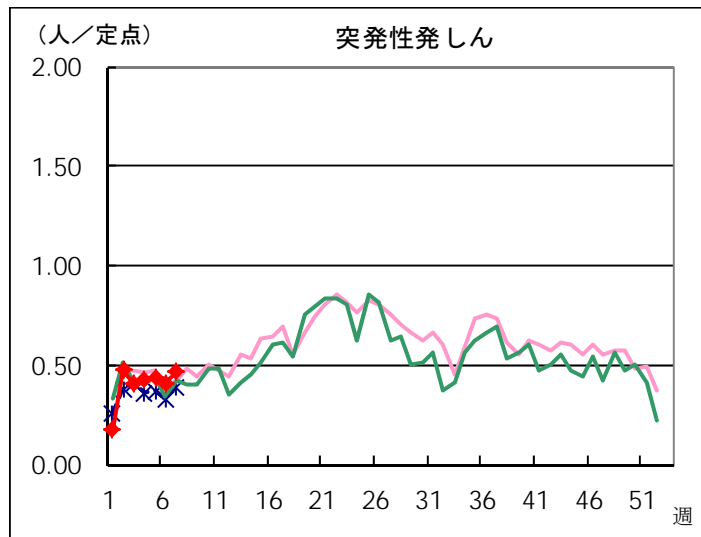
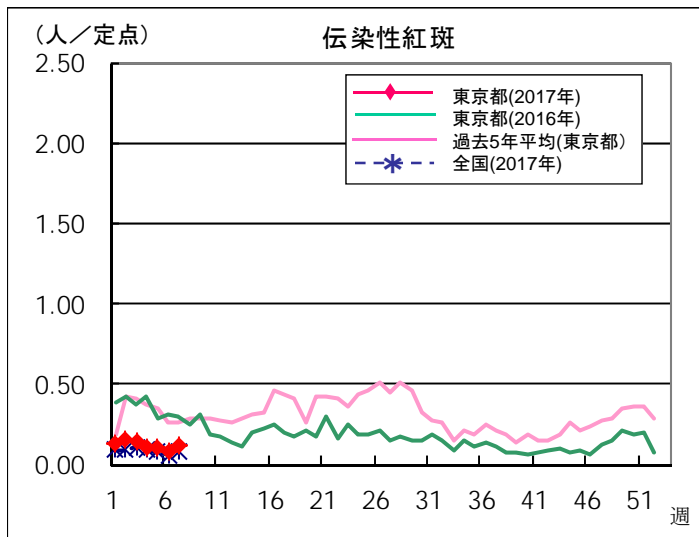
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				5			1				1
中央区		3	4	26				2			
みなと	2	3	9	45	4		1	2			2
新宿区		1	23	43	1		1	2			1
文京			5	23	2		1	1	1		1
台東		4	11	28	2			2			2
墨田区			6	17	2	1		4			
江東区	1	5	12	104	3		1	7		1	1
品川区	5	3	12	36	2	2	1	4			2
目黒区			9	26	3	1	7	4			1
大田区		10	37	71		3	1	7			5
世田谷	2	9	25	89	6	3		3			7
渋谷区	2			13	4						
中野区	4	2	10	63	8			3			1
杉並	1	1	12	46	4		2	2			1
池袋		1	2	20							
北区			13	39	3			4			
荒川区	1	2	8	24	2			2			2
板橋区			13	36	1	3		6			1
練馬区	1	1	54	75	2	5		13			
足立	1	5	12	75	1			4			2
葛飾区			9	41	1			3			
江戸川	1	1	18	115	3		1	4			4
八王子市	1	3	30	128	4		3	7			7
町田市			40	78	2		3	3			13
西多摩		1	5	39	2			3			
南多摩	2		25	53	2		1	5			2
多摩立川	1		31	126	2		2	2			6
多摩府中		2	27	122	7		3	6			12
多摩小平	3	10	82	83	1	1	2	16			4
島しょ			3								
東京都合計	28	67	547	1,689	74	19	31	121	1	1	78

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			50								5
中央区		1	95								
みなと			154								2
新宿区			137			1	1	1		1	5
文京			97								6
台東			104								
墨田区		1	146								3
江東区			313								
品川区			177		1						
目黒区			118								
大田区	1	1	335		1						
世田谷		1	614							1	14
渋谷区			72					1		1	3
中野区			273								
杉並			292		1						1
池袋			125								
北区			244								
荒川区			184								
板橋区			203							1	1
練馬区			377		1						
足立		2	458		1						
葛飾区		1	310		1					2	9
江戸川	1		377		1						
八王子市			594								2
町田市			507								
西多摩			373								1
南多摩			404								
多摩立川			566					1			3
多摩府中	1	1	838					2		1	8
多摩小平			696					2			20
島しょ			44								
東京都合計	3	8	9,277		7	1	1	7		7	83

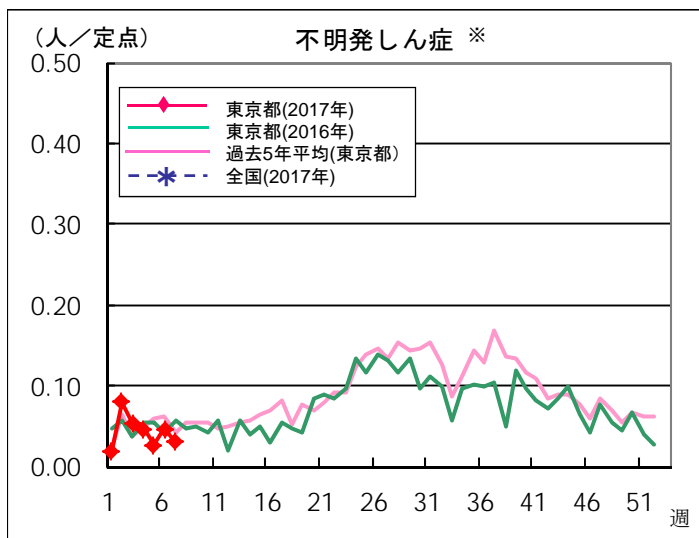
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2017年7週 現在)

◆ 小児科定点



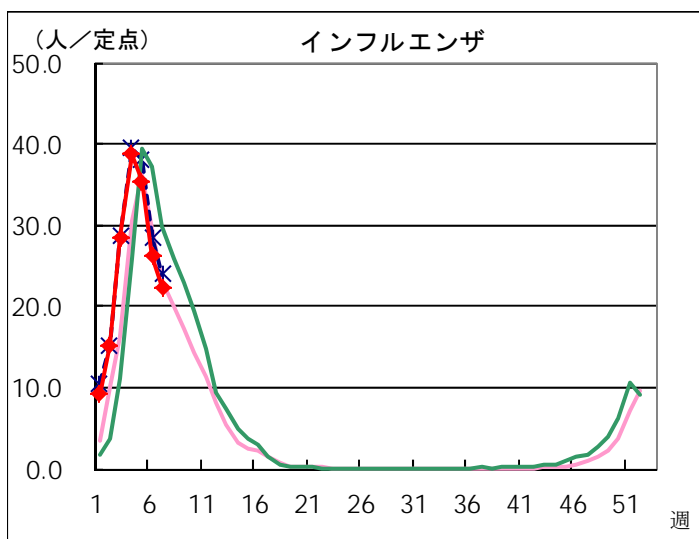


※ 東京都独自対象疾患

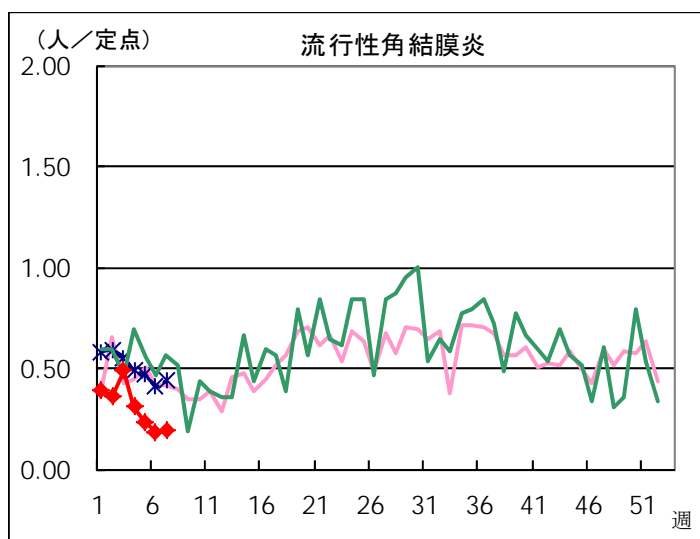
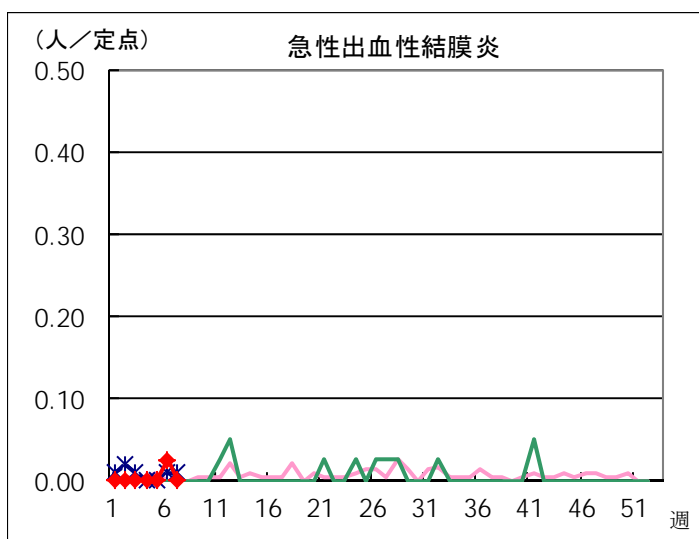


※ 東京都独自対象疾患

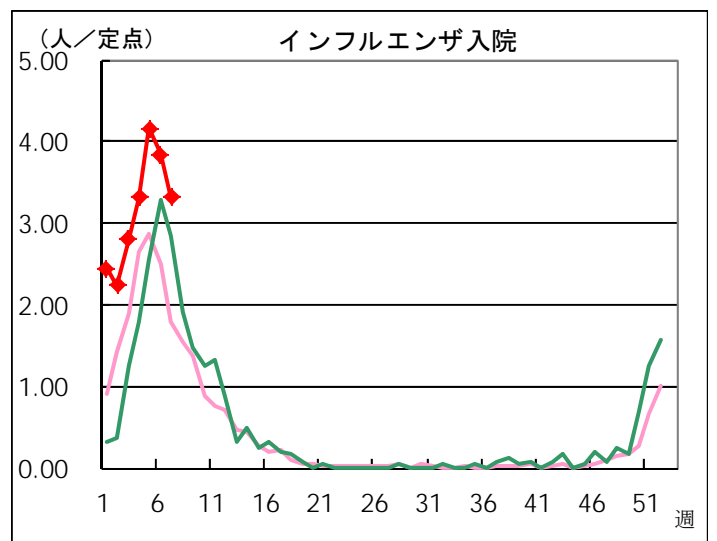
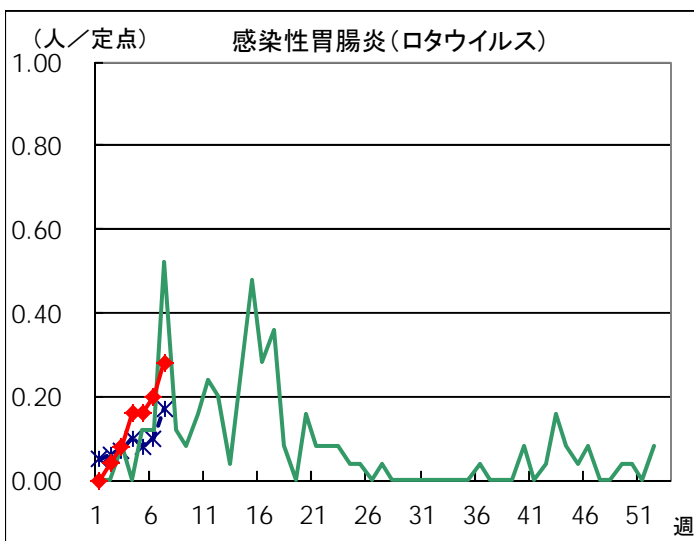
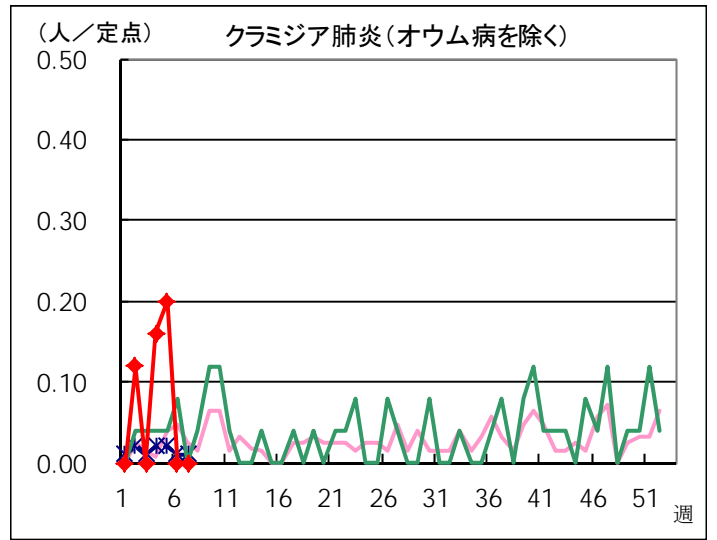
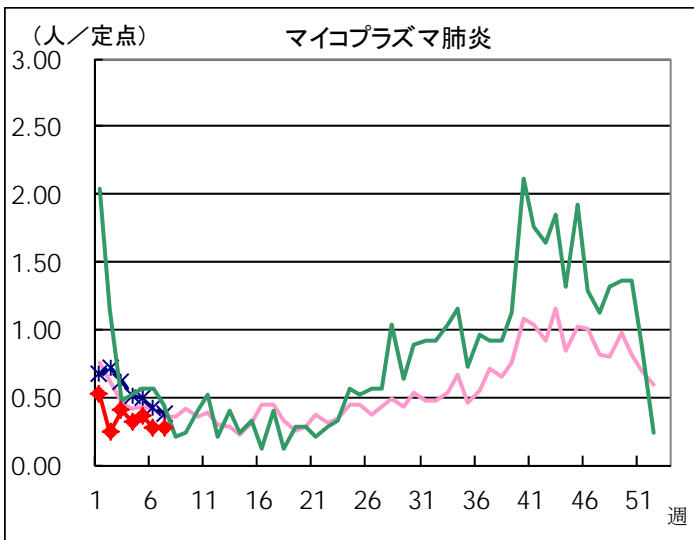
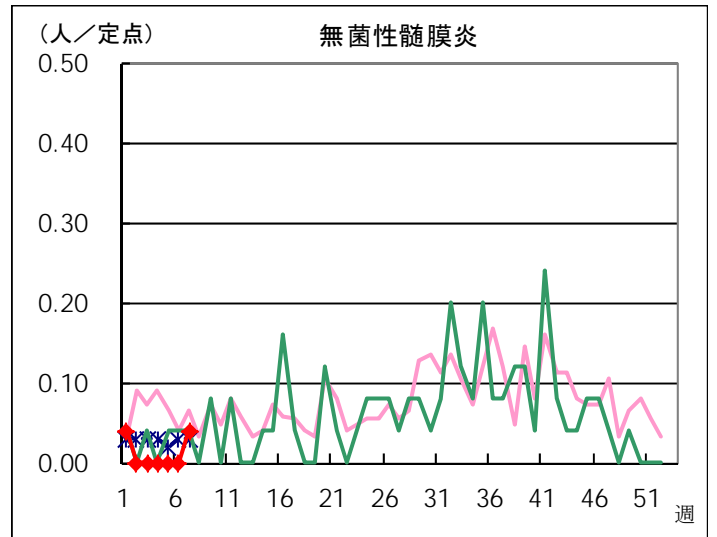
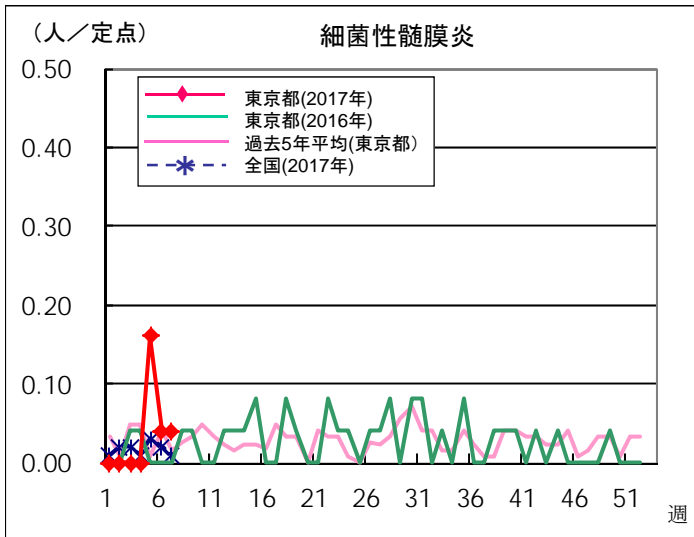
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
1/13	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
1/14	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌その他のT型
1/18	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
1/23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
1/24	感染性胃腸炎	2	直腸拭い液	A群ロタウイルス
1/30	流行性耳下腺炎	4	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
1/31	インフルエンザ様疾患	11	咽頭拭い液	アデノウイルス
2/1	感染性胃腸炎	5	便	A群ロタウイルス

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2017年5週			20	4
2016-2017年 シーズン累計*	4		191	12

* 2016-2017年シーズンの開始は第36週(2016年9月5日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年			2017年				
	50週	51週	52週	01週	02週	03週	04週	05週
アデノウイルス	4	1	3	1	1		2	1
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	2		1					
ライノウイルス		1		1		1		
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス				1				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1				1	1		
EBウイルス		1				1		
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス	1	1				1		1
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19	1							
RSウイルス		1				1		
ノロウイルス	2	2		2				
ロタウイルス				2	1	1		2
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	16	16	12	14	19	25	28	20
インフルエンザウイルスB型		1		2	1	1	3	4
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1							
その他のウイルス	1				1			
A群溶血性レンサ球菌T-1型				1				
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型						1	1	1
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型								
A群溶血性レンサ球菌その他のT型	1						1	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年50週～2017年05週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	6	9	14	2	1	2	2	1	2	8		14	160	22		6	4	6	2	
アデノウイルス		5												4	2		2				
コクサッキーウイルスA群																					
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス														2	1						
ライノウイルス						1								2							
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					1																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								1					2								
EBウイルス											2										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											4										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							1														
RSウイルス	2																				
ノロウイルス				6																	
ロタウイルス				6																	
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型														146	4						
インフルエンザウイルスB型														11	1						
インフルエンザウイルスAH1pdm09														1							
その他のウイルス																				2	
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型																					
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型																					
A群溶血性レンサ球菌その他のT型				2																	
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

我が国の予防接種の課題

我が国では戦後昭和27年に予防接種法が制定され、その後改正を繰り返してきているが、新開発や改良されたワクチンが実用化されるためには、小規模のテスト接種から始めて、全国的な研究班による数百人以上の接種試験を行い、さらに必要な全量を国産で賄えるようにした上で定期接種として採用されてきた。

その理由は、安全性を重視するとともに、輸入に頼っているとその国の事情で輸入が止まった時に困るからであった。輸入するワクチンについても、この安全性のテストがきちんと行われたのはH i b ワクチンであった。

ヒトパピローマワクチンについては、国内での接種試験が行われたいまま採用になったが、注射局所の痛みが強く、しかも持続する例がでたことから、積極的勧奨が中止されたままになっている。

予防接種による感染症予防の重要性は申すまでもなく、今後も現行ワクチンの改良や新ワクチンの実用化が世界で続けられることが期待される。南米やアフリカ等で問題になっている重症感染症に対するワクチンは未開発が多いが、これらの疾患が我が国に持ち込まれることはあっても、流行に至る恐れは少ないのが現状である。

我が国のこれからの予防接種体制としては、必要な新ワクチンが開発された場合でも必要量を国内で生産する必要はなくなっているが、採用前の試験接種は小規模でもよいのでぜひ行うようにしてほしい。

(文責 東京大学名誉教授 平山宗宏)